

パナソニック・イズム

ism

モノづくりスピリッツ
発見マガジン

アーカイブ
Archives

SHARE

▶ コンテンツ一覧 ▶ このサイトについて

ism トップ > 不思議な水の謎を解く ～アルカリイオン整水器～

※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

不思議な水の謎を解く ～アルカリイオン整水器～

近年の健康ブームとともに、我々の水への関心は高まる一方だ。
そんな中で密かに話題となっているのが、アルカリイオン整水器。
整水器ってどんなモノなのか、またイオン水とは何なのか…。
世界各地の水を飲み歩いた「フィールド系ルポライター」が、その謎を解き明かす。

・プロローグ・

湧き出す謎

・ 1 章 ・

実験ショーの開演

・ 2 章 ・

イオンの秘密

・ 3 章 ・

魔法のハコ

・ 4 章 ・

過去と未来

navigator: 安藤“アン”真樹

スタッフ一覧へ / プロローグ 湧き出す謎へ

このコンテンツ、あなたの評価は？ おもしろい ふつう おもしろくない

ismトップ

コンテンツ一覧 | このサイトについて

※過去に掲載された記事になります。内容は公開時のものであり、最新の情報とは異なる場合がございます。

不思議な水の謎を解く ～アルカリイオン整水器～

プロローグ 湧き出す謎

navigator: 安藤 "アン" 真樹 profile

1章 2章 3章 4章

水と僕のカンケイ

ここ数年、水がブームだ。
過激的な人気を博しているというよりも、徐々に確実な、
水は我々の日常生活の中で、注目と関心を集めてきている気がする。



一度、スーパーマーケットやコンビニを覗いてみれば、
国内外を問わず、様々なブランドのペットボトルが陳列されているし、
中には海洋深層水や源泉水なんてモノもあったりして……。

よくよく考えてみれば、
自分が飲む水にこだわるということは至極当然なことだと思う。

それに「清らかな水に触れることは、精神を穏やかにしてくれる。
それは水が流すオーラが人間の心を癒してくれるからだ」と、
以前取材したことがある星久島のガイドさんが教えてくれた。



あっ、少し遅れたけど、
今回ナビゲーターを務めさせていただく僕アンの紹介を簡単にしよう。
僕の職業はライター&カメラマン。
旅行や釣り、ログハウスといった
フィールドワークの仕事を中心に扱っている。

仕事柄、国内外のイロイロな場所に赴かねばならないので、
行く先で風光明媚な景勝地を観光したり、
名物料理を食べ歩いたりする機会も多い。
(それが仕事ということも多々あるんだけど)。

その際、訪れた地域の名水を飲めるのも僕の密かな楽しみだ。
美味しい水が飲めると聞けば、タンク容積や空ペットボトル片手に、
湧き出る水を汲み取り、
ゴクゴク(ときにはデビデビと)啜を濁している。

僕は水の専門家ではないので、詳しいことはわからないけれど、
同じ国内でも場所によって微妙にその味や酸味が異なる。
その辺が名水巡りの面白いところであり、
そんな大地の恵みを生み出した
自然の奥深さを感じるひとときでもある。
ちなみにこれまで飲んだ中で、特に「ウマイ!」と思ったのは、
国内では星久島、海外ではスイスのモントレー近郊のお水。

そんなわけで水に関する思いや好奇心は
そこそこ強い自分では思っている。
ちなみに僕が日頃、お茶を入れたり、料理に加える水は、
水道水をポット型の浄水器に入れてる濾したモノを使用している。
でも浄水器はフィルターを交換するのが面倒になったりして、
実際には水道水を沸かして使ったりするケースも多い。



一方、飲料水に関してはペットボトルを購入している。
特に僕のような東京在住者にとって、
「飲料水=買って飲む水」なのはもはや当然のこと。
とてもじゃないが水道の蛇口から出てきた
カルキ臭い水を直接飲む気にはならない。

かつて友達のおススメで、水の宅配システムを試したこともあるが、
注文から到着までのタイムロスが嫌わしくなって、
あまり継続しなかった。
だから水質の良い地域の方々が本当に羨ましいのだ。



個人的にペットボトルに関しては国内ブランドよりも、
マグネシウムやカルシウムといったミネラル分が豊富に含まれている
海外ブランドの硬水(ヨーロッパ産が多い)が好き。

そんな自稱(あくまで自称)水フリークの僕が、
今回のナビゲーターを務めさせていただくわけだが、
そこに至る経緯も水の持つ不思議な力を感じずにはいられないものだった。

水の魔力?

あれはまだ梅雨空の広がる6月某日、
新宿の高層ビル街から少し離れたところにオープンした
水のアンテナショップに立ち寄ったときのことだ。



店内には日本をはじめ、フランス、イタリア、カナダ、アメリカと
世界各国のペットボトルが所狭しと陳列されており、
その一角では大型の機械から抽出される
「アルカリイオン水」なるものが試飲できるようにになっていた。

僕を言えば僕がこの水の名前を聞くのはそのときが初めてではない。
以前、「奇跡の水～アルカリイオン水～」というような
謎い文句のテレビ番組を観た記憶があるし、
いつかはアルカリイオンと銘打ったペットボトルを購入したことがある。

にもかかわらず、僕の中でそれほど気にならなかったのは、
心の中で「自然水ではないから」と位置づけていたからかもしれないし、
なんとなく身近な存在として認識することができなかったからかもしれない。

そんなことをふと考えながら、抽出されたイオン水を飲んでみた。
「ゴクゴク」
うん、清らかな水として飲みやすい。

でも……、なんだか腑に落ちないのだ。

「アルカリイオン水」
「酸味でなくアルカリというのだから、なんとなくカラダによさそう」
「イオン水ということは、科学の水で何か施したのか?」
その、僕が今までこの水をそれほど意識していなかった最大の理由が
その名称が美しくて、正体がはっきりとわからなかったからだ。



実際はどのような水で、何故この世に存在しているのか?
どうして「アルカリ」で、しかも「イオン水」なのか?
現にこの店でも水の出る機械の傍らに
「カラダにやさしい」「お茶にもピッタリなど」と
明記されていたが、どの辺がやさしいのか、
何ゆえお茶にピッタリなのかは、
まったく触れられていない。

「イオン水か。飲み口はいいけど、やっぱりよくわからない水。
これならミネラル豊富なペットボトルの方がいいかな」
それが僕の正直な感想だった。

ややモヤモヤ気分を強しつつ、店を後にする僕アン。
そのとき、ポケットに入れていた携帯電話の着信音が鳴り響いた。

「ねえ、アンちゃん!
今度、アルカリイオン整水器の
レポートがあるんだけどお願ひできる?
水にある程度関心がある人を先方は希望しているから、
速戻かと思って……」

これ作り話ではなくホントの話。
「真実は小説よりも奇なり」といわれるが、
この場合もそれに近いものがある。
単なる出来過ぎた偶然か、
あるいは水の摩訶不思議なパワーに導かれてしまったのか。
ともかく僕にとってはまさにドンピシャの魅力的なオファーだ。
「もちろん、やりますよ!」
迷わずふたつ返事で引き受けた。

「ついにアルカリイオン水の謎が解けるかもしれない!!」
僕は思わずニンマリしてしまった。

謎また謎

そうとなれば早速、アルカリイオン整水器のリサーチ開始だ。
新宿周辺の数軒店に足を運び、
パンフレット片手に製品を観察してみた。



「おいおい、こいつは……」
はっきりいってこの整水器なるものを
(言葉は悪いが)僕は少し疑っていたのかもしれない。
単にその整水器からアルカリ性とされたイオン水なるものが、
抽出されるくらいにしか思っていなかった。
ところが驚くべきことに整水器の本体にはアイオンで
コップやごはん、野菜などのマークが記されており、
それぞれpH8.5、pH9、pH10といった具合に
pH値が刻まれている。
つまりその用途によってアルカリの強度を調整できるらしいのだ。

さらによく見ると、ボタンの中には
「弱酸性水」なるものが書かれているではないか。
女性の方はよくご存じのように、お肌にやさしいこの水は、
洗顔の際に使用すべしなどと書かれている。

アルカリ整水器なのに弱酸性水も出てくる?
ムムム……これは一体?
僕はますますその構造に興味と興味を持つようになった。

リサーチの結果、アルカリイオン整水器は僕にとって、
「とても便利な魔法箱のような」
「やっぱり謎の多い」
「それでいてなんだか凄そうな製品」だった。

でももっと凄いのはこれを作った人達かもしれない。
水のpHを用途に応じて使い分けられるなんて、
かなり水に精通してないといけないことだよ、これは!

嬉しいことに今回のレポートでは、
彼等、つまり整水器の開発チームの面々に
話を聞けるチャンスがあるというではないか。

アルカリイオン水とは何ソヤ?
何ゆえ誕生したのなのか?
どのようにして整水器されるのか?
pH値の違いによってどんな効果?
どうして弱酸性水が出るのか?

彼等へ聞けばこれまで僕の頭の中を駆けめぐっていた
数多くの「?」が解明されるに違いない。
長年、謎に包まれていたこの水を究明する絶好のチャンスだ。
なんだかとてもワクワクしてきた。

松下電器の担当者によれば、
どうやら整水器の工場は福岡・久留米市近郊にあるとのこと。
ならば行くではないか、久留米へ!
(それに久留米といえ、久留米……?)
九州ラーメンの発祥の地でもあったような……?
僕は神秘的な地名の響きにも後押しされた。
僕は羽田空港から飛行機で福岡へと向かった。



もちろんこれから体感する、
アルカリイオン水によるビッグ・サプライズの連続など
この時点では僕はまったく知る由もなかった。

1章 実験ショーの開幕!へ

約20秒の予告おまけムービーです。ご
覧頂くにはWindows Media Player 7
以上が必要です
Get Windows Media Player

Panasonicイズム

ism トップ > 不思議な水の謎を解く

ism トップ > 不思議な水の謎を解く ~アルカリイオン整水器へ~ > 実験ショーの開催

ism トップ > 不思議な水の謎を解く ~アルカリイオン整水器へ~ > 実験ショーの開催

SHARE

コンテンツ一覧

このサイトについて

不思議な水の謎を解く ~アルカリイオン整水器へ~

1章 実験ショーの開催

navigator > 実験マガジン > 1章 2章 3章 4章

緊張感はおどろきに

僕アンの目指す久留米市郊外の城島工場までは、羽田から福岡空港まで1時間40分のフライトを経て、そこから久留米駅まで高速バスで約50分、さらにタクシーを乗り継いで20分という長い道程だった。

タクシーに乗車して10分を過ぎた辺りで、日本三大河川のひとつである筑後川の川原尻のルートに入る。その雄大な流れの周囲には緑豊かな田舎風景が眼を奪った。

ちなみに工場のある城島町は「花の郷」「比叡郷」「有翼」といった銘柄でお馴染みの、九州地方でも屈指の産地だ。良い米が収穫され、良い酒が飲める土地は、間違いなく水質の良いエリア。そんな自然豊かな環境の中に、目的地であるその工場は悠々と構えていた。

工場到着後、スタッフの方に案内され、エントランスを通り最初に話を伺える会議室へと向かう。その途中、この工場の奥には、プラスチックや紙などの廃棄物や精密なコンピューターを備えた実験室があることも聞いた。

日夜、研究に動かし続けているスタッフが僕の眼裏に浮かんだ。

「ガチャリ」
種よい緊張感を感知しながら、僕はドアノブを回した。室内では城島工場の責任者である大津工場長と、もう1人のスタッフとおぼしき男性が僕をむかえてくれた。



水質調整部とともに20年城島工場長 大津 朋信 氏
アルカリイオン整水器には発売当初から携わり、一号機（据置型）から現行機種までを熟知する。

「はじめまして大津です。今回は遠いところ、わざわざありがとうございます」
屈託のない笑顔で僕を迎えてくれた大津工場長は、アルカリイオン整水器の開発当初からその研究・設計に携わり、40代の若さでこの工場のリーダーとなった人物。その物謙と謙遜があまりに著しい。他のスタッフが叱咤激励しながら引っ張っていく、心置き難い元氣な印象を受けた。

それにしては……、以前はアルカリイオン水の謎を解ける喜びでワクワクしていたと述べた。それはまったく嘘ではない。本当に、しかし同時に別の感情をも持ちあわせていた。

何故なら、僕アンは言うならば完全な文系人間で、学生時代に数学や理科があまり得意ではなかったタイプ。特に物理や化学は永遠に忘れたい教科といってもいい。

それに対してここで研究・開発しているスタッフ達、そして今対面している重々とは異なる、理数系のスペシャリスト達。折角、時間をさいて説明してくれてたとしても、彼等の言うことが果たして理解できるのか、僕はかなり不安だったのだ。

いきなり飛び出すのはムスカシ化学の反応式か？
あるいはアキラカな機械の設計図か？
僕は工場長の一挙手一動に注目していた。

だが次に彼の口から発せられた言葉は、僕の予想とは大きく異なるものだった。

「いきなりイオン水云々ではちょっと遠慮でしよう。まずは飲たのちよっとした余興というか、実験ショーに付き合ってくださいませんか？
佐藤君、準備はいいかな」

しばし感然とする僕の前で、先程から工場長の傍らに座っていたスタッフが立ち上がり、グラスやペットボトルなどを並べ始めた。

「何だかオモシロそうぞ……」
先程の不安など、どこ吹く風で、僕はこれから行われるであろう実験ショーに見入っていた。

お、お茶の色か？

「こんにちは、佐藤です。私の担当業務はアルカリイオン水の用途調査・研究すること。私には、実際に我が社の製品で生成されたアルカリイオン水を『どういったカタチで料理に応用できるか』『あるいはその料理に最も適したpHはどのくらいか』などを調査研究しています。」

そして、その内容や結果をカタログに掲載したり、料理のレシピを作ったりして、お客様に提供しています。もちろん、アルカリイオン整水器の発売にも

フィードバックしているんですよ。まあ……自己紹介はこの辺にして、実験ショーを始めましょう！」

「それでは行きますよ。まずはグラスを2つ並べます。ひとつには水道水、もうひとつにはアルカリイオン水が入っています。それぞれに少量のお茶を葉を入れます……」

「ゲゲゲ」
水道水の方はこれといった変化がないが、アルカリイオン水の方は茶葉を入れるやいなや、すぐに茶葉のエキスが溶け出しているではないか！
改めて言うけど、これお湯じゃなくて「水」なんだよ！

水道水 アルカリイオン水

茶葉を入れた瞬間から… エキスが溶け出し、アルカリイオン水はあっという間に緑茶に！

「さてお茶は、二つのグラスに少量のお茶を入れて、一つには水道水、もう一つにはアルカリイオン水を注ぎます。(コロボコボ……)」
当然、お茶の色は薄くなるはずですよ。」

またもや僕は自分の目を疑った。水道水の方はお茶の色が薄くなったが、アルカリイオン水の方は水かさばふえてるもの、なんと、お茶の色が変化していないのだ!!
逆に色が濃くなっていくということ？
「えっ、何で??」
「葉はね。」
お茶の成分がアルカリイオン水によって、さらに抽出されて溶け出したんです。だから水量は増えても、お茶の色はほとんど変化しません。この2つの実験ショーから、アルカリイオン水が優れた浸透力に加え、優れた抽出力をもっているのがわかりますよ。

これらの優れた効果は調理の場にも応用できればと考えて、我々は発売当初の9年4月から本格的に寿司屋や蕎麦屋、パン屋や洋食レストランなどの飲食店、そして栄養学を研究している大学の先生などにも協力していただいて、データの収集および分析を行ってきました。

例えば鰻節や昆布からダシを取るのに、アルカリイオン水はどの程度効果があるのか。ごはんをふくら炊くにはどのpH値が最も適しているのか。うどんや蕎麦、パスタをこねるといった際にも何か影響があるのか。コーヒーや紅茶、緑茶を入れると味や風味は向上するのか……etc、実験は多岐に渡って行われました。

それらも効果、pH値、味、色、食感、臭いといった様々な面から観察するのですから、ホントに膨大な時間がかかりましたよ。」

佐藤さんによると、アルカリイオン水と調理の関係については、それまでの既存のデータや報告例があったそうだが、それらに頼らず、開発当初から独自に市場調査とデータ収集をおこなってきたのだそうだ。

料理というのは終わりのない分野である。アルカリイオン水と調理の関係もまた然りだ。現在でも開発チームは福岡市にある弘法大学の食料栄養学および分析を行っている。ここで僕アンはあることを思い出した。

「そうぞ、久留米と言えどもトンコツラーメンじゃないか、トンコツラーメンがアルカリイオン水でダシ取りすれば、さきさきワマライメンが出来上がるのでは、……と質問を投げ掛けると、

「すでに県内で何軒かのラーメン店では、アルカリイオン水が使用されていますよ。短時間で効率的に豚骨から濃厚なダシが取れ、しかもスープの味も安定しているので重宝されています」

これは豚骨に含まれているグルタミン酸などの旨み成分を他の水よりもアルカリイオン水の方が多く抽出できるからとのこと。

「そうぞ、私の調査ではアンスンお住まいの東京やお隣の神奈川県でもアルカリイオン水を使ってスープを作っているお店があるはずですよ。そう得意げに話す佐藤さんは自分のホームページにも掲載しているという、細いデータが書き込まれたオリジナルのラーメン店リストを見せてくれた。その中には僕がかねてからマークしていた店も含まれていたのだ、今度その味を（得にスープを）確かめに足を運ぼうと思う。

「さてお茶は、二つのグラスに少量のお茶を入れて、一つには水道水、もう一つにはアルカリイオン水を注ぎます。(コロボコボ……)」
当然、お茶の色は薄くなるはずですよ。」

またもや僕は自分の目を疑った。水道水の方はお茶の色が薄くなったが、アルカリイオン水の方は水かさばふえてるもの、なんと、お茶の色が変化していないのだ!!
逆に色が濃くなっていくということ？
「えっ、何で??」
「葉はね。」
お茶の成分がアルカリイオン水によって、さらに抽出されて溶け出したんです。だから水量は増えても、お茶の色はほとんど変化しません。この2つの実験ショーから、アルカリイオン水が優れた浸透力に加え、優れた抽出力をもっているのがわかりますよ。

これらの優れた効果は調理の場にも応用できればと考えて、我々は発売当初の9年4月から本格的に寿司屋や蕎麦屋、パン屋や洋食レストランなどの飲食店、そして栄養学を研究している大学の先生などにも協力していただいて、データの収集および分析を行ってきました。

例えば鰻節や昆布からダシを取るのに、アルカリイオン水はどの程度効果があるのか。ごはんをふくら炊くにはどのpH値が最も適しているのか。うどんや蕎麦、パスタをこねるといった際にも何か影響があるのか。コーヒーや紅茶、緑茶を入れると味や風味は向上するのか……etc、実験は多岐に渡って行われました。

それらも効果、pH値、味、色、食感、臭いといった様々な面から観察するのですから、ホントに膨大な時間がかかりましたよ。」

佐藤さんによると、アルカリイオン水と調理の関係については、それまでの既存のデータや報告例があったそうだが、それらに頼らず、開発当初から独自に市場調査とデータ収集をおこなってきたのだそうだ。

料理というのは終わりのない分野である。アルカリイオン水と調理の関係もまた然りだ。現在でも開発チームは福岡市にある弘法大学の食料栄養学および分析を行っている。ここで僕アンはあることを思い出した。

「そうぞ、久留米と言えどもトンコツラーメンじゃないか、トンコツラーメンがアルカリイオン水でダシ取りすれば、さきさきワマライメンが出来上がるのでは、……と質問を投げ掛けると、

「すでに県内で何軒かのラーメン店では、アルカリイオン水が使用されていますよ。短時間で効率的に豚骨から濃厚なダシが取れ、しかもスープの味も安定しているので重宝されています」

これは豚骨に含まれているグルタミン酸などの旨み成分を他の水よりもアルカリイオン水の方が多く抽出できるからとのこと。

「そうぞ、私の調査ではアンスンお住まいの東京やお隣の神奈川県でもアルカリイオン水を使ってスープを作っているお店があるはずですよ。そう得意げに話す佐藤さんは自分のホームページにも掲載しているという、細いデータが書き込まれたオリジナルのラーメン店リストを見せてくれた。その中には僕がかねてからマークしていた店も含まれていたのだ、今度その味を（得にスープを）確かめに足を運ぼうと思う。

「……とはいえ、飲みすぎには注意ですよ！」と佐藤さん。

僕によって次々と繰り出される実験ショーは、どれもこれも僕の褒め言葉を浴びるばかりだった。しかもその後の解説によつて、それらが単なるショーとして完結せずに、アルカリイオン水にどんな効果があるのかわかるのでタメになる。そして何よりも楽しかった。

ここでこれまで状況を見守っていた大津工場長が語り始めた。どうぞ、医学的にも効果があることが証明されているんです。それにね、科学的にも効果があることが証明されているんです。現に私は元々腎臓が丈夫な方ではないので、アルカリイオン整水器の開発に携わる以前は腎臓を害していたのですが、このプロジェクトでアルカリイオン水を飲むようになって、そのぶろぶろの腎臓がよくなった。今は薬いらずなんです。他にも同じようなお話を聞いたスタッフが何人かいるんですよ。そういえば……

僕が水にはまり始めた頃、アルカリイオン水の分子量は他の水のそれよりも小さく、細胞組織に浸透しやすいというために、たっぷりの量でも、割りとすんなり飲めてしまう……なんて話を聞いた事がある。僕の中で、いるんなら考えがけろつた。

「それにアルカリイオン整水器からは弱酸性水も生成可能です。弱酸性水はアストリゼントとして美容に用いられます。」

そうぞ、それだよ。どうしてアルカリイオン整水器なのに弱酸性水が出てくるのか。もはや僕でも立ってアルカリイオン水を飲むようになって、工場長は「まあ、落ちついて」と優しく目を見て、こう話した。「その辺の詳しいことは、白水（しるすず）君と小川君に聞いてみるといい。整水の白水に、浄水の小川川。2人とも水にはかなりこだわりを持っているスタッフでしてね。名前にも“水”“川”と、水質関連の言葉が入っているくらいですから。

私の方からヒントをもっと差し上げるならば、アルカリイオン水も弱酸性水も、電気分解によって作られるということ。昔、化学の授業に実験したよな。あの原理を応用するんです」

「オ、テンキブンカイ？ 確か+と-の電極に……アレ？」
とたじろく僕アンの。そんな僕の不安げな表情を一目して工場長は、「ハハハ、そんなに心配しなくて大丈夫。彼等ならその辺をわりやすく説明してくれるはず。次に私がアンスンとお会いするときは、きっとアルカリマイスターになってますよ」と頼もしい発言。

アルカリマイスター＝アルカリの達人か……、この手の格好いい名称にすこぶる嬉しい。工場長の一言で、暖かな空気が出てきた。ヤル気だけでは足りない。

これまでの大津工場長のお話や佐藤さんの実験ショーのお陰で、胃腸系に効率的に浸透しやすくなる。焼酎は飲みやすくなる。そしてテンキブンカイ！……などなど、おぼろげながらアルカリイオン水の効果がつかめてきたのだ。

「帰ってるよ。アルカリイオン水。僕の身体を完全に解き明かしてやる！」
彼は心の中で強く叫んだ。

早速、工場長の案内で、僕は白水さんと小川さんが作業している実験室に向かい、その扉を開けた。それは長年築かれた中で最も静かだった。アルカリイオン水への謎の扉を開けることでもあった。

2章 イオンの現象へ

「予おまけムービー」
約20秒の予告おまけムービーです。ご覧頂くには必要 Media Player 7以上が必要です
Get Windows Media Player

page top

1章 2章 3章 4章

ism トップ

コンテンツ一覧

このサイトについて

予おまけムービー

約20秒の予告おまけムービーです。ご覧頂くには必要 Media Player 7以上が必要です

Get Windows Media Player

page top

1章 2章 3章 4章

ism トップ

トップへ | 2章へ

コンテンツ一覧 | このサイトについて

